

## 著者紹介

### 遠藤 登喜子 Endo Tokiko

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター、高度診断研究部部長、放射線科部長、医学博士。

1973年3月名古屋大学医学部卒業、名古屋掖済会病院にて研修医。1974年4月同病院にて内科医として勤務。1977年4月愛知県がんセンター放射線診断部。1990年10月名古屋大学医学部放射線医学教室にて助手、講師、助教授。1995年国立名古屋病院(現名古屋医療センター)放射線科部長。2008年4月臨床研究センター高度診断研究部部長(名古屋医療センター放射線科部長を併任)。現在に至る。研究歴と現在の専門分野：乳房画像のコンピュータ支援診断、マンモグラフィによる乳がん検診、乳がんの画像診断と精度管理などを研究テーマとし、現在はマンモグラフィの画像表示や新しい乳房画像法の研究を行っている。

所属学会：①日本医学放射線学会、②日本超音波医学会、③日本乳癌学会。

### 牧野 利明 Makino Toshiaki

名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野准教授、薬学博士。

1995年京都大学薬学部製薬化学科卒業、2000年京都大学大学院薬学研究科博士後期課程修了、京都大学博士(薬学)取得、2000年北海道薬科大学漢方薬物学研究室助手、2003年米国ミシシッピ大学薬学部天然物研究センターにて訪問博士研究員、2005年名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野講師、2007年名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野准教授。

研究歴と現在の専門分野：臨床生薬学、漢方薬学。所属学会：日本薬学会、和漢医薬学会、日本生薬学会。

### 野口 昌良 Noguchi Masayoshi

財団法人名古屋公衆医学研究所常務理事、医学博士。

1965年3月名古屋市立大学医学部卒業、1970年3月名古屋市立大学大学院医学研究科卒業、1970年6月名古屋市立大学医学部助手、1973年3月愛知医科大学産婦人科講師、1980年1月カナダ・トロント大学産婦人科クリニカルフェロー、1985年1月愛知医科大学産婦人科助教授、1991年1月愛知医科大学産婦人科教授、2001年4月愛知医科大学産婦人科主任教授、2004年4月財団法人名古屋公衆医学研究所理事、2005年3月愛知医科大学定年退官、2005年4月愛知医科大学名誉教授、2008年4月財団法人名古屋公衆医学研究所常務理事、現在に至る。

専門分野：生殖生理学、性感染症学、抗菌化学療法学。

所属学会：日本産婦人科学会、日本性感染症学会、日本産婦人科内視鏡学会。

### 恵美 宣彦 Emi Nobuhiko

藤田保健衛生大学医学部血液内科教授、医学博士。

1980年4月名古屋掖済会病院勤務、1986年4月愛知県ガンセンター免疫学部勤務、1988年4月カリフォルニア州立大学サンディエゴ校小児科、1989年4月名古屋大学医学部第1内科医員、1999年11月名古屋大学医学部第1内科医局長、2001年11月名古屋大学大学院医学研究科分子細胞内科学講師、2003年7月名古屋大学大学院医学研究科分子細胞内科学助教授、2005年7月藤田保健衛生大学医学部血液内科助教授、2008年4月同上教授(輸血部長兼務)。

専門分野：白血病の治療、造血器腫瘍の遺伝子異常、遺伝子治療。

所属学会：日本血液学会、日本造血細胞移植学会、日本臨床腫瘍学会。